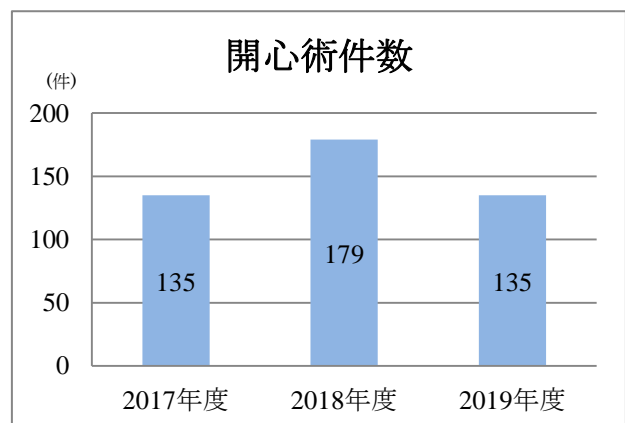
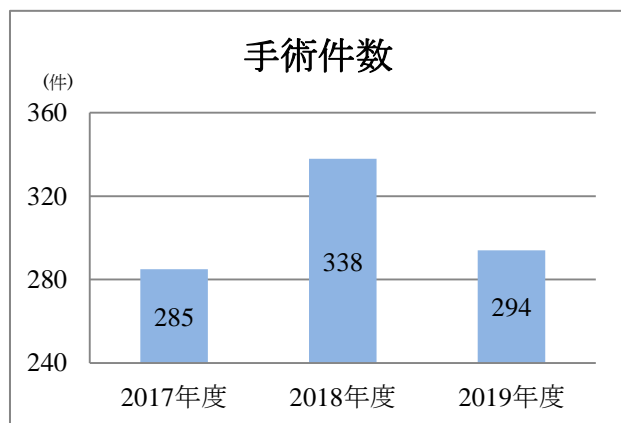
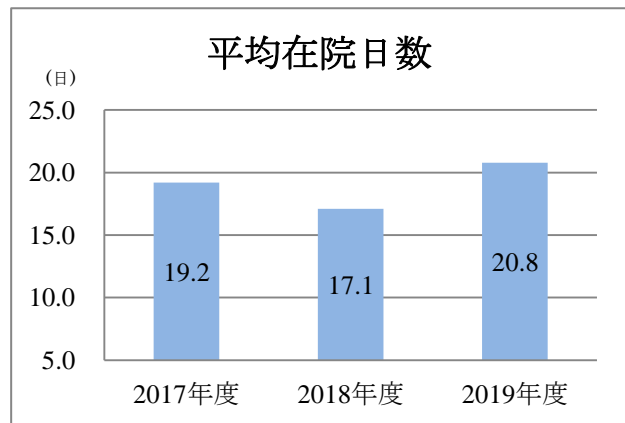
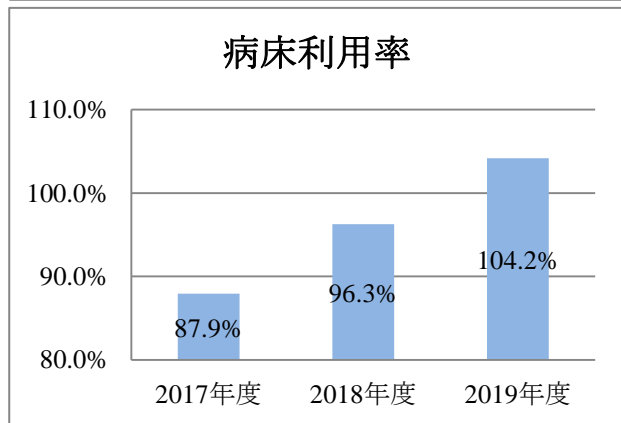
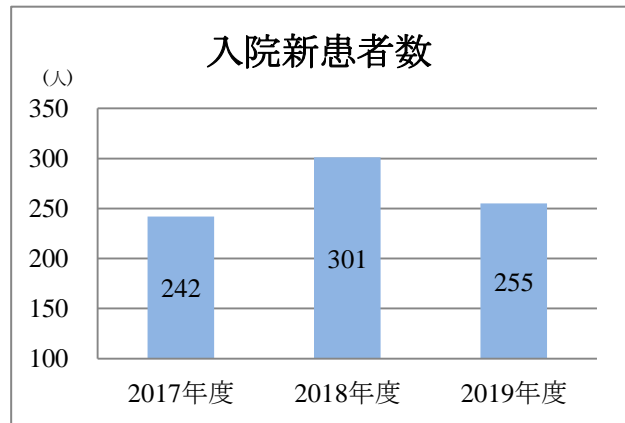
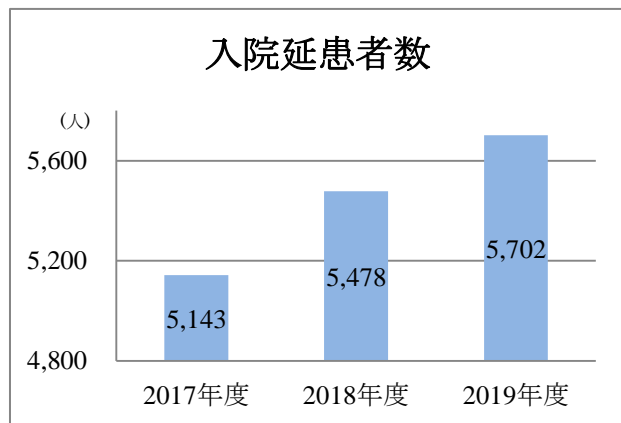
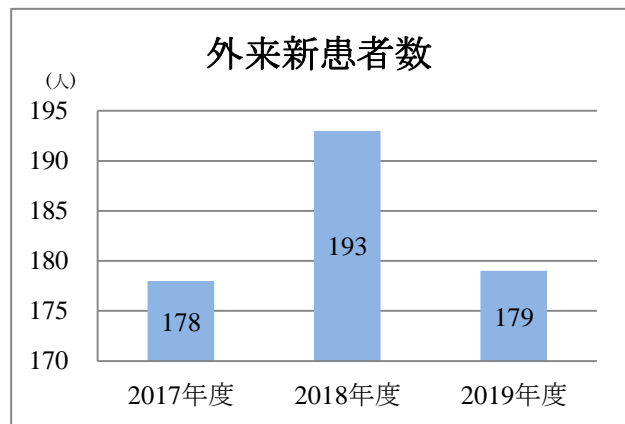
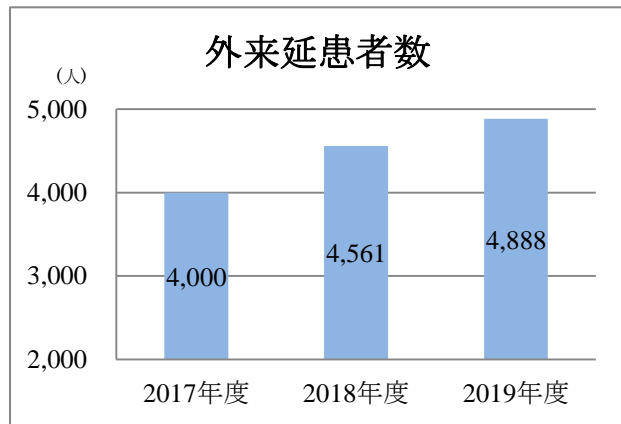


## 2-13. 心臟血管外科

### 診療実績



## 診療活動

順天堂大学医学部附属静岡病院心臓血管外科では、平成 2019 年度の 1 年間で心臓・大血管（腹部大動脈を含む）手術 176 例、末梢血管手術その他 118 例で計 294 例の手術を施行しました。緊急手術はそのうち 89 例でした。このうちいわゆる開心術（心拍動下冠動脈バイパス術＋体外循環症例）は 135 例あり、これは成人開心術では静岡県東部地域で最多症例数でした。これはひとえに、院内で循環器科、麻酔科、手術部をはじめとする医師やコメディカルの方々、および地域の皆さまの御支援・御協力によって達成できたものと考えており、この場をお借りして深く御礼申し上げます。手術成績は、緊急手術を合わせて院内死亡率は約 5% でした。いわゆる開心術に限定すれば、お断りすることなく重症例を多く引き受けている当科において、全国平均（Japan SCORE）とほぼ同等の成績でした。

なお、平成 24 年度より胸部のステントグラフト実施施設として認定され、当科で腹部のみならず胸部の大動脈瘤についてもステントグラフト治療が実施できるようになっています。また、下肢静脈瘤についても積極的に外科治療を行い、良好な成績を上げています。平成 29 年度からは低侵襲心臓外科手術（MICS）も開始し、大動脈弁置換術・僧帽弁形成術/置換術を右開胸で 5-8cm の小さい皮切で施行しています。今年度は MICS 6 例（大動脈弁 2 例、僧帽弁 4 例）を施行し、手術・院内死亡 0 でした。

地域の皆さまに頼りにされる診療科として医療に貢献すべく、成人の心臓血管手術全般でいっそうの手術成績の向上を図っていく所存ですので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

## 次年度目標

2019 年度は、臨床面では前年度に比べて、開心術数、全手術数ともにわずかに昨年を下回りました。静今後とも地域の方々にいっそう信頼していただけるように、たゆまぬ努力が必要であると肝に銘じています。手術成績自体は、全国平均（Japan SCORE）並みですが、動脈の性状が悪い症例や重症の透析例なども積極的に引き受けしており、引き続き成績向上に向けてたゆまぬ努力を続けてまいります。麻酔科・手術部の方々のご協力に感謝を申し上げます。

2020 年度も引き続き、臨床面においては手術成績の向上により重点を置いて、県東部地域の基幹病院としての地位を確固たるものとするを目標といたします。また、静岡病院発（静岡病院のスタッフが筆頭著者・責任著者となっているもの）の研究発表を発信していき、研究面でも地域・業界に寄与すべく各種地方会や研究会に積極的に演題を発表してまいります。

すなわち、診療・研究・教育の 3 分野で、三学会構成心臓血管外科専門医認定機構における基幹施設にふさわしい活動を年間通じて継続してまいりますので、みなさま方からのご指導・ご鞭撻を今後ともよろしくお願い申し上げます。

## 研究・教育活動

### ① 原著（英文）

1. Yatsu S, Yanagawa Y, Nagasawa H, Tambara K, Suwa S. Successful treatment of cardiac tamponade due to rupture of the heart performing an open-chest pericardiectomy. Cureus. 2020;12:e7101.

### ② 学会発表（国内）

1. 齋藤洋輔, 丹原圭一, 土肥静之, 稲葉博隆, 山本平, 鶴田亮, 廣瀬仁, 天野篤. 糖尿病患者におけるスケルトナイズド法により採取した両側内胸動脈を用いた心拍動下冠動脈バイパス術の有益性について. 第 72 回日本胸部外科学会定期学術集会. 2019年 10 月 31 日.

2. 宮崎豪, 丹原圭一, 齋藤洋輔, 町田洋一郎. MICS-MVP. 第13回静岡県東部心臓外科・循環器科連携の会. 2020年2月14日.